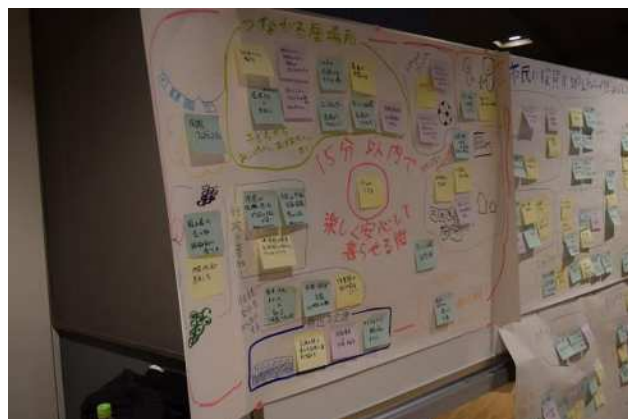


第2章

まちづくりワークショップ ～市にのまちづくりについて語ろう～



開催概要

- 下表のとおり、実施しました

項目	概要			
回次	第1回	第2回	第3回	第4回
開催日	令和6年 11月16日(土)	令和6年 11月17日(日)	令和6年 12月15日(土)	令和6年 12月16日(日)
開催時間	13:30～16:30			
開催場所	東区役所 3F 多目的ホール大	中区役所 2F 多目的ホールA	岡山芸術創造劇場 ハレノワ 4F 練習室8	南区役所 4F 大会議室
対象者の 選定基準	多様な年代・属性の市民			
参加人数	16名	21名	18名	18名
内容	・岡山市全域の広範囲エリアを対象とし、多様な年代、属性の市民が岡山市の将来像やこれからのまちづくりの方向性について話し合い、未来の岡山市を考える。 ・身近な体験をもとに3つのテーマから岡山市の未来を自分事化して話し合う。			

実施方法

ワークショップ方法 グループディスカッション／グループ発表形式

4～5人のグループに分
かれる



- ・多様な年代・属性の市民が参加した。
- ・参加者が自分事化できる身近なテーマを設定した。

思いついたことを話し
合い、付箋に書きだし
ていく



- ・個々の意見を自由に付箋に書きだした。
- ・参加者が自由に発言できる雰囲気づくりに努めたことで、多数の意見がでた。

グループ内発表で出た
意見をグルーピングし、
サブタイトルを付ける
偵察タイムも行う



- ・グループ毎に出てきた意見を集約、とりまとめを行う。
- ・偵察タイムで、自分以外の考えや意見を知る機会を設けた。
- ・各テーマ毎に全体発表する。

各テーマ毎に全体発表
する
テーマ②ではキャッチ
フレーズを考える



- ・グループ毎の意見とキャッチフレーズを全体に発表する。
- ・意見を整理し発表することで参加者の当事者意識、満足度を高めることができた。

ワークショップのテーマ

- 岡山市の都市機能・時代潮流・人口、ワークショップの進め方の説明を踏まえ、アイスブレイクをした後に下記③テーマについて話し合いました。
- テーマ①で岡山市の「お宝」について話し合い、付箋に書いて模造紙に貼りだしました。
- テーマ②では、岡山市のキャッチフレーズを考えました。
- テーマ②③で岡山市が住みたいまちとなる方向性を見出し、将来像を実現するためにそれぞれが取り組みたいことを付箋に書きだし、全体で共有しました。

「市のまちづくりワークショップ」当日の流れ

テーマ①	岡山市のお宝ってなに？ (これから大切にしていきたいもの)
テーマ②	岡山市がどんなまちだったら住みたい、住みたい？
キャッチ フレーズ	グループ毎にキャッチフレーズを考える
テーマ③	住みたいまちにするためには？

当日のスケジュール

時間	LAP	項目	内容	備考
13:00～13:30	30"00	受付		
13:30～13:31	01"00	開会	メインファシリテーターによる開会	
13:31～13:32	01"00	参加者紹介	各グループのファシリテーター	
13:32～13:47	15"00	オリエンテーション	(1)WS開催の目的・位置づけ説明 (2)岡山市の総合計画、プロフィール、主な取組 (3)今後について（最新の話題）	【PPT】
13:47～14:02	15"00	アイスブレイク ・ 13:47-13:57 (10分) グループ内で自己紹介 ・ 13:57-14:02 (5分) ゲーム		
14:02～14:35	33"00	テーマ① 「岡山市のお宝ってなに？」（これから大切にしていきたいもの）		
		・ 14:02-14:05 (3分) 説明		
		・ 14:05-14:10 (5分) 個人意見書き出し	付箋に書き出していく	
		・ 14:10-14:25 (15分) グループ内発表・意見交換 とりまとめ	グループ内で順番に発表し、意見交換を行う、偵察タイム 出た意見をグルーピングし、サブタイトルをつける	
		・ 14:25-14:35 (10分) 各グループの発表	各グループで出た意見を発表する	※1グループ2分×5グループ
14:35～14:42	07"00	休憩		
14:42～15:25	43"00	テーマ② 「岡山市がどんなまちだったら住みたい、住み続けたい？」		
		・ 14:42-14:45 (3分) 説明		
		・ 14:45-14:50 (5分) 個人意見書き出し	※同上	
		・ 14:50-15:10 (20分) グループ内発表・意見交換 とりまとめ	〃（キャッチフレーズ作成も） 〃	
		・ 15:10-15:25 (15分) 各グループの発表	〃（キャッチフレーズ発表も）	※1グループ3分×5グループ
15:25～15:58	33"00	テーマ③ 「住み続けたいまちにするためには？」		
		・ 15:25-15:28 (3分) 説明		
		・ 15:28-15:33 (5分) 個人意見書き出し	※同上	
		・ 15:33-15:48 (15分) グループ内発表・意見交換 とりまとめ	〃 〃	
		・ 15:48-15:58 (10分) 各グループの発表	〃	※1グループ2分×5グループ
15:58～16:13	15"00	参加者の感想共有	参加した感想をマイクで発言いただく ※1名30秒	※全員から一言ずつ感想発表
16:13～16:20	07"00	総括	岡山市コメント・メインファシリテーターによるまとめ	
16:20～16:25	05"00	参加者アンケート記入		
16:25		閉会		

会場レイアウト

■下記レイアウトを基準として、各回の参加人数や会場に応じて調整しました。

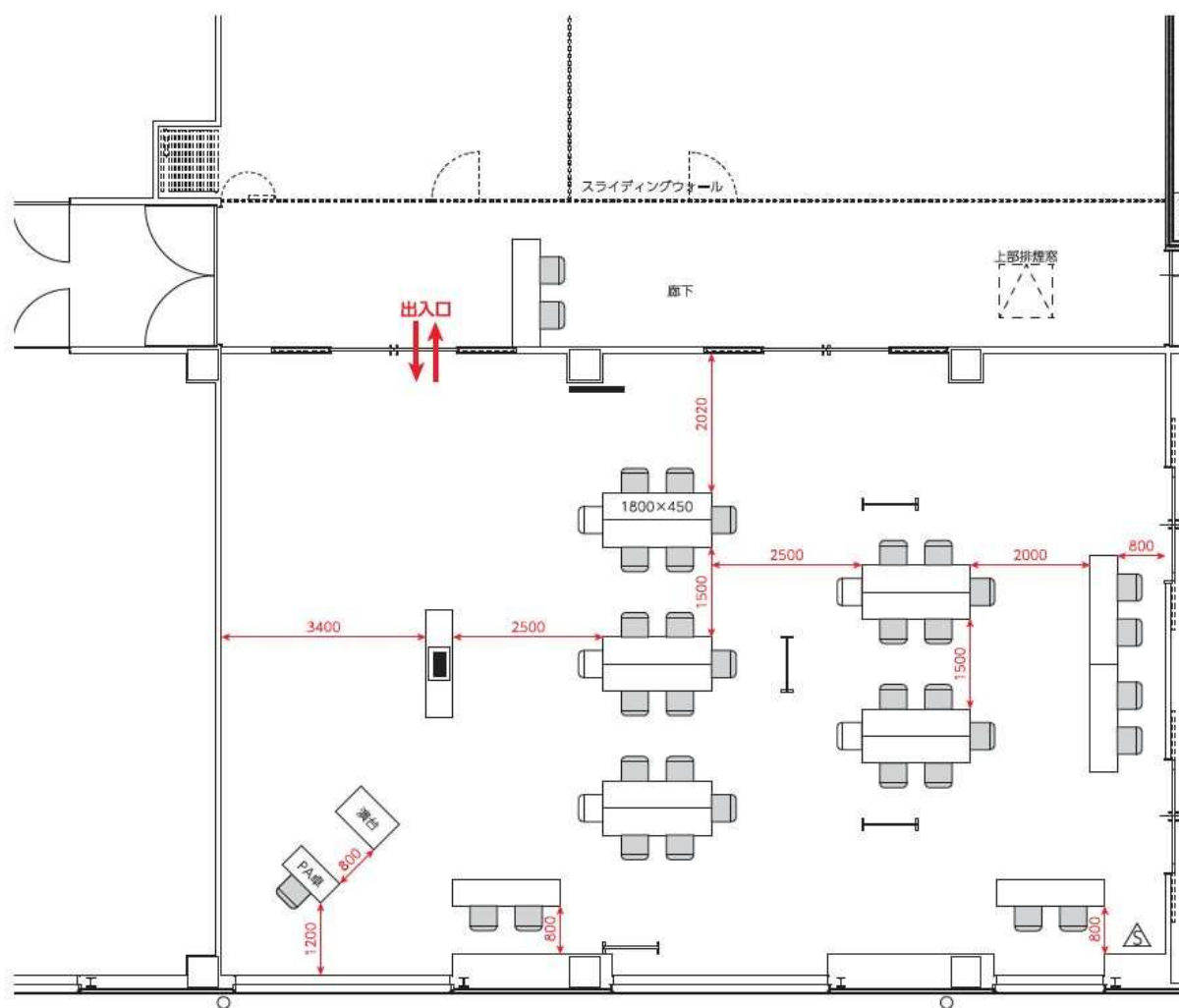
■グループ構成

参加者：1グループ4～5名×5グループ

ファシリテーター：1グループ1名×5グループ

■会場

- 東区役所、中区役所、岡山芸術創造劇場ハレノワ、南区役所



テーマ①「岡山市のお宝ってなに？」

- 他県の人たちに自慢したい岡山市のコト・モノ
- とても満足しているコト・モノ
- これからも大切にしていきたいコト・モノ
- 岡山らしいと思うコト・モノ

<進め方>

①個人で意見を付箋に書き出す。（5分間）

※1枚の付箋には一つの意見・アイデアを簡潔に

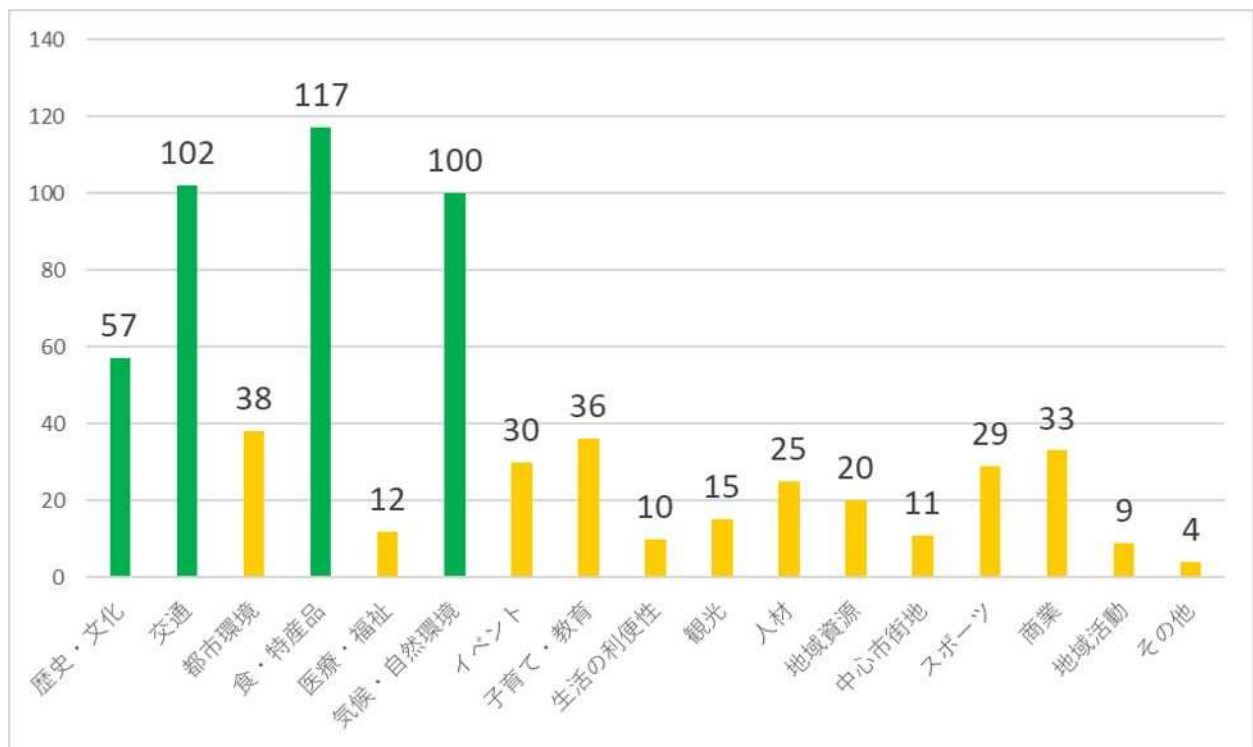
②記入した付箋紙を模造紙に貼りながら順番に発表、その後意見交換、
新たな意見も追加、類似の意見をグルーピングし、見出しをつけてまとめる（15分間）

③各グループの発表（10分間）

<結果>

○地域別4回のワークショップを通じて、出てきたキーワードは総数で648件となりました。

○分野別キーワード数



【市民の意見】①岡山市のお宝

分野別キーワードの要旨

分類	要旨
歴史・文化	史跡や神社仏閣が多い（岡山城、造山古墳、吉備津神社、最上稲荷） 伝統文化（西大寺はだか祭り、丹頂鶴の放鳥） 工芸・芸術文化（犬島のアート、備前焼）
交通	交通アクセスが良好（近畿・四国・九州へのアクセス、新幹線停車駅） 国内外の移動が便利（高速道路の充実、空港の駐車場が無料、国際線の充実） 公共交通の充実（路面電車の雰囲気、バスの本数、ももちゃり）
都市環境	公園が充実している（西川緑道公園、北長瀬未来ふれあい総合公園） 自然とまちが共存し、都市部と農村部が隣接している
食・特産品	フルーツ王国（高級フルーツ、なし、ぶどう、フルーツパフェのまち） 新鮮かつ安くおいしい食材が豊富（野菜、魚、米、酒） 郷土料理、名物が豊富（ばら寿司、えびめし、ママカリ、きびだんご） 飲食店が充実している（ラーメン、うどん、パン屋、居酒屋）
医療・福祉	医療機関、介護施設の充実（岡山大学病院など）
気候・自然環境	災害が少なく、温暖な気候で晴れの日が多い 恵まれた自然環境（海と山が近い、美しい田園風景） 豊かな水資源（3つの一級河川） 平坦で移動しやすい地形
イベント	伝統的な祭り（西大寺会陽（はだか祭り）、うらじゃ） 地域で楽しめる催しが豊富（岡山城でのイベント、京橋朝市、マルシェ）
子育て・教育	大学、高校、専門学校が多く、留学生も多い 図書館の利用者数・貸出冊数が多い
生活の利便性	買い物がしやすく、住みやすい（スーパーの充実、家賃や土地の相場が低い）
観光	ドライブスポットが多い
人材	岡山市にゆかりのある芸人や俳優、ミュージシャンの全国的な活躍
地域資源	色濃く残る地域の自然や伝統文化（四つ手網、獅子舞、操山） 映画やロケ地が多い（フィルムコミッションによる地域の魅力発信）
中心市街地	駅前の賑わいと利便性（商店街、イオン、ハレまち通り、下石井公園）
スポーツ	高校生のスポーツが盛ん（サッカー、バレーボール） 地域のプロスポーツチームが活躍、金メダリスト
商業	大型商業施設が充実（天満屋、イオン、映画館） 文化的な施設が多い（劇場、美術館、ライブハウス） カフェや純喫茶、美容院が多い
地域活動	地域交流が盛ん（町内会や公民館活動、地域のイベント、地域密着型のお店）
その他	財政が豊か（政令市比較）

意見が多かった項目

テーマ② 「岡山市がどんなまちだったら住みたい、住み続けたい？」

- こんなまちにしたいなあ
- こんなまちになってほしい
- 夢、希望、将来像（ビジョン）
- こんなまちなら行ってみたい
- 魅力的なまち

<進め方>

①個人で意見を付箋に書き出す。（5分間）

※1枚の付箋には一つの意見・アイデアを簡潔に

②記入した付箋紙を模造紙に貼りながら順番に発表、その後意見交換・

新たな意見も追加、類似の意見をグルーピングし、見出しをつけてまとめる。

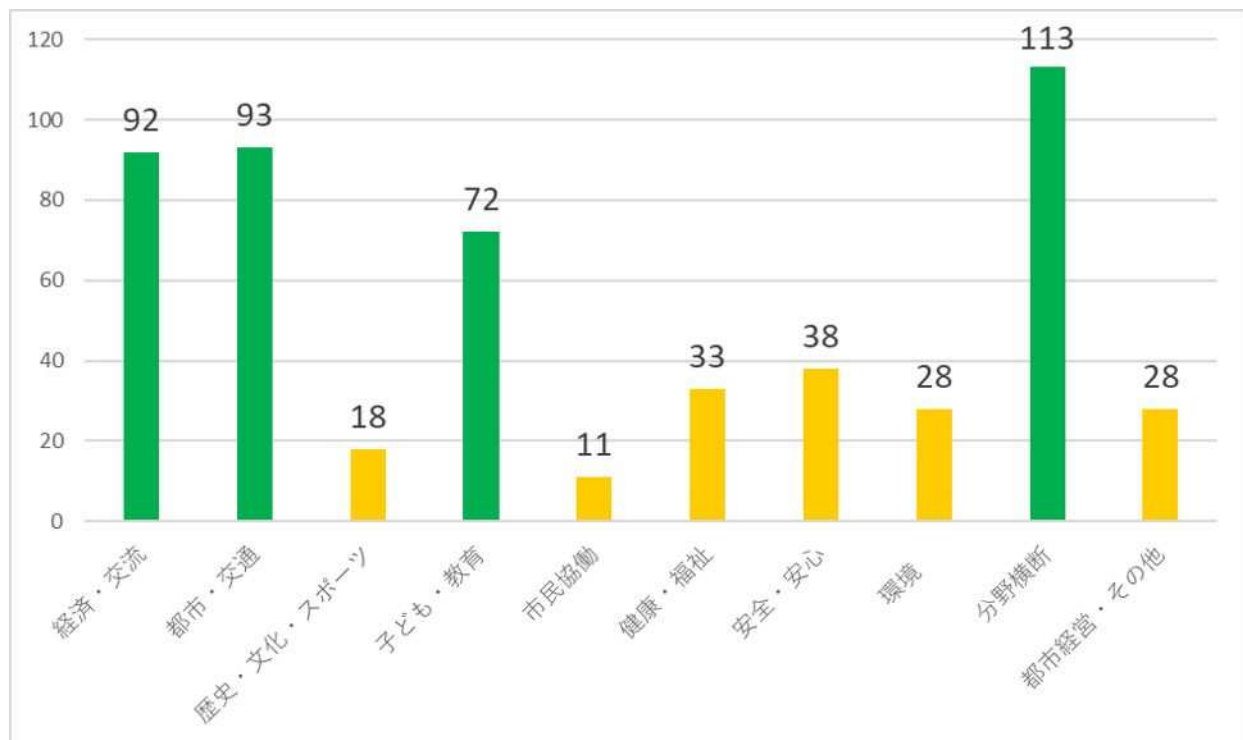
さらに、住みたい、住み続けたいまち岡山のキャッチフレーズを作成（20分間）

③各グループの発表（15分間）

<結果>

○地域別4回のワークショップを通じて、出てきたキーワードは総数で526件となりました。

○分野別キーワード数



テーマ③「住み続けたいまちにするためには？」

- こんな取り組みが必要だ、進めるべきだ
- こんな制度があったらいいな
- こんなことにチャレンジしたい、こんなことに参加したい

<進め方>

①個人で意見を付箋に書き出す。（5分間）

※1枚の付箋には一つの意見・アイデアを簡潔に

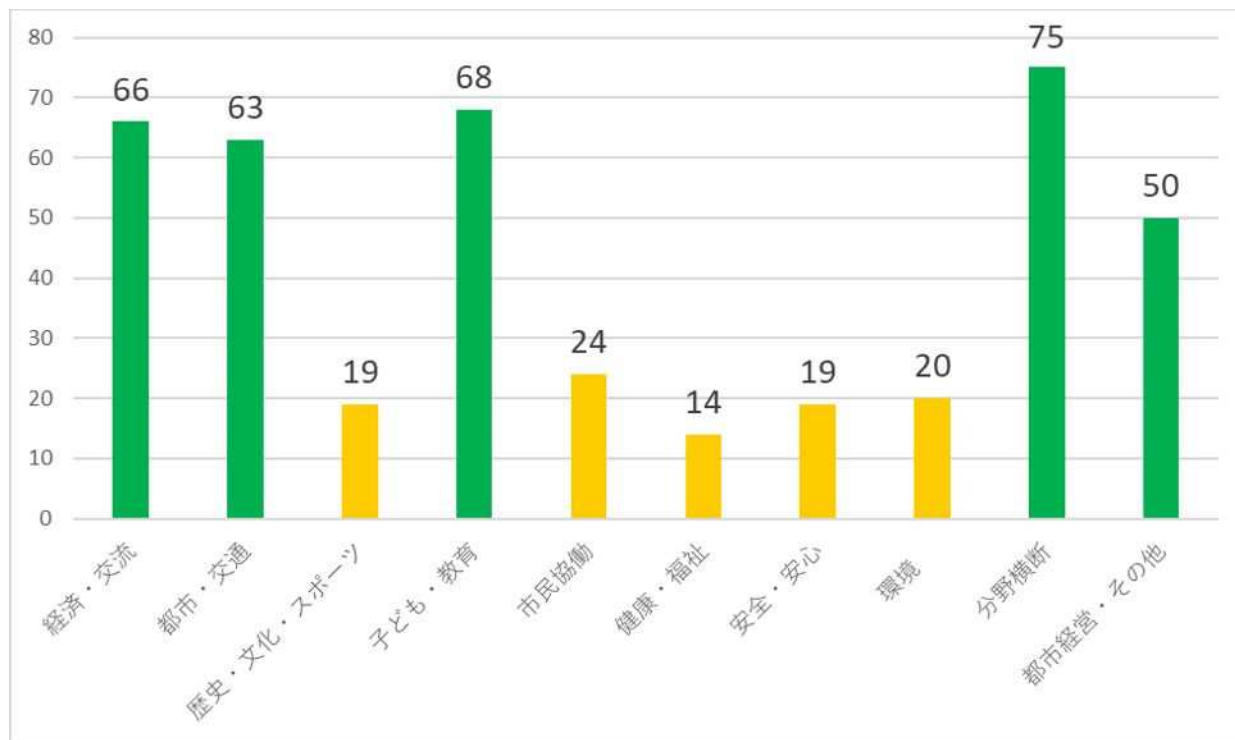
②記入した付箋紙を模造紙に貼りながら順番に発表、その後意見交換・新たな意見も追加、類似の意見をグルーピングし、見出しをつけてまとめる（15分間）

③各グループの発表（10分間）

<結果>

○地域別4回のワークショップを通じて、出てきたキーワードは総数で418件となりました。

○分野別キーワード数



【市民の意見】

②岡山市がどんなまちだったら住みたい？/③住み続けたいまちにするためには？

分野別キーワードの要旨

中分類	小分類	要旨	
		テーマ② 理想像	テーマ③ 必要な取組
経済・交流	産業・雇用	多様な仕事、多様な働き方ができるまち 女性・高齢者・外国人が働きやすいまち 起業や転職など、やりたいことに挑戦しやすいまち	リモートワーク、副業の推進、大企業や最先端企業などの誘致 ベンチャー・起業家育成、起業支援などチャレンジを応援 地元企業の成長促進やUターン就職、地元就職の支援
	中心市街地	個性的な専門店・商業施設・娯楽施設の整ったまち 路面電車が環状化され便利なまち	商店街の活性化をはじめまちなかへのお出かけ機運の向上 路面電車の延伸などの利便性の向上
	食・農業	おいしい果物や野菜が安く手に入り、地産地消が当たり前のまち 岡山ならではの味、特産品が味わえるまち	特産品を使った名物グルメや農家が儲かる特産品の開発
	観光・交流	初めて来た外国人でも観光しやすいまち 移住者・来訪者にやさしいまち	外国語案内やコンシェルジュ、宿泊施設の充実 移住者と市民が交流する施設展開
都市・交通	拠点形成 地域振興	教育・商業・医療・福祉が集まったコンパクトシティの実現	生活に必要な要素が15分圏内にある生活圏の創出 (15Min City 15分都市)
	交通	公共交通が充実し、車がなくても暮らし続けられるまち 自転車のルールが守られ、安全・快適に移動できるまち 道路が整備され、交通事故や渋滞がないまち 高齢者や子どもが移動しやすいまち	バスやタクシーと連携した公共交通空白エリアの解消 放置自転車対策、自転車専用道の整備 幹線道路の整備による渋滞対策など道路・交通インフラの整備 高齢者と子育て世代のタクシー代の減額支援
	都市景観・住環境	美しい自然があり、景観が整備されたきれいなまち 様々な活用できる公園が充実したまち	古民家・空き家活用の推進、緑化の推進 子どもが自由に遊べる公園の整備
歴史・文化、 スポーツ	歴史・文化・芸術	歴史を大切にし、伝統文化が継承されるまち	伝統文化の継承支援、地域の歴史資産の活用
	スポーツ	スポーツ施設が充実しており、街中にスポーツが溢れるまち	サッカー専用スタジアムやアリーナを中心にしたまちづくり
子ども・教育	子ども・子育て	子どもを預ける場所が充実しており、共働きしやすいまち 子どもたちが自由に遊べ、可能性を伸ばせるまち 地域とつながり、子育てをみんなで支え合うまち 子育て世代がゆとりをもって生活できるまち	学童、企業内託児、病児保育などの子どもを預かる施設の充実 産・育休制度の充実と職場の意識改革など育児と仕事の両立支援 雨の日でも遊べる施設や安全な公園などのこどもの居場所づくり 学費や出産費用、おもつなどの必需品の補助
	女性・若者		起業支援をはじめ若者が活躍しやすい支援の充実 ママさんワークステーションなど女性の多様な働き方支援の充実
	教育	学生がまちづくりの中心となり、活気のあるまち 多様な教育と学習支援が充実しており、学びの機会が広がるまち	学校（小中高大）と地域のつながりを強める 自習スペースの整備、外国語教育の強化
市民協働	協働、国際、人	国際交流が活発で、外国人にも暮らしやすい共生社会	国際フェスティバルや交流会などの開催
健康・福祉	健康・福祉	充実した医療・福祉で安心して年がとれるまち 高齢者や障がいのある方も快適でいきいきと活躍できるまち	医療機関・介護サービスの充実と人材確保 高齢者・障害者の支援と地域のつながり強化
安全安心	防災	避難場所の設備が整い、災害に備える安全なまち 地域防災が確立され、災害時に助け合えるまち	地域全体での防災訓練の実施 イベントや講座を通じた防災意識の向上
	安全・安心	道が安全で、子どもがひとりでも歩けるまち 安全・安心で、犯罪・事故が少ないまち	ガードレールなど用水路の転落防止策の充実 街灯の設置と住民同士のつながりの強化
環境	環境	自然豊かな、自然と調和したまち 太陽光発電やEVなどカーボンニュートラルに取り組むまち	太陽光パネル設置推進、エネルギーの地産地消、EV補助金の拡充 断熱・省エネ住宅への補助など省エネ推進
分野横断	賑わい、活気	スポーツや音楽など大きなイベントが開催できる会場のあるまち マルシェなど休日に楽しめるイベントが豊富なまち 地域毎のイベントが開催され、人がつながるまち	大規模会場の整備と世界的アーティストのライブ開催 子ども・若者・高齢者などの全世代が交流できるイベントの開催 市民が企画参加しやすい環境づくりによる地域のイベント活性化
	つながり	あいさつがたくさんあり、人の交流が盛んなまち 子ども・若者と高齢者など、世代を超えた交流のあるまち 地域コミュニティが活発で、助け合いのあるまち	家と学校・職場以外の居場所（サードプレイス）づくり 若者と高齢者をはじめ、様々な年代が交流できる場の創出 住民同士の協力や交流拠点の整備など地域コミュニティの活性化
	シビック プライド	周囲から憧れられる、自慢できる魅力あるまち	流行や新たなアーティストを生み出す
	住みやすさ	心に余裕があり、価値観を認め合え、いきいきとしているまち 身近に必要な環境が揃っていて利便性の高いまち	安全・安心の確保と経済的な安定の両方による生活の充実 中心部以外でも、歩いて生活できる環境づくり
都市経営 その他	その他	行政と市民の距離が近いまち	市民の意見を行政に伝えるツールの開発

意見が多かった項目

【グループ発表とりまとめ | 第1回】

キャッチフレーズ	住みたいまち	住みたいまちにするために
「Everyone Everywhere やさしい！」 みんなにやさしい町。	交通利便性を高め、自動車免許返納後も生活しやすいまちを作る。廃校や廃園施設の有効活用で育児・教育環境を充実させ、企業誘致や仕事の幅を広げる。娯楽施設を増やし、まちに活気をもたらすことが重要。	交通インフラ整備や公共交通の充実が不可欠。地域資源を活用し、サイクリングロードや移動スーパーを導入するなど、全世代が参加できるイベントや施設の強化を目指す。市民の声を行政がもっと反映させ、誰もが住みやすい環境を作ることが重要。
「楽しい安心つながり 推しがある町」	アーティストが集まるような会場があると同時に、多様な仕事もあり、世代・国籍を超えたつながりがある。安心・安全な環境を整備し、廃校・廃園の有効活用やコミュニティスペースの整備を進め、子育て支援を充実させるまちを目指す。	イベントが活発に行われるが、普段は静かに暮らせるまち。働きたい人への支援が充実。各世代の居場所や縦横のつながりを大切にし、廃校の有効活用や環境整備を進める。観光地周辺に買い物場所を増やし、市民の意見を聞く場も設ける。
「すべての世代が交流できて 安心して楽しく暮らせる街」	車がなくても生活でき安心して歳を取れるまちを目指す。教育や子育ての悩みを解消する世代間交流の場を提供。文化・エンタメが充実し、誰もが輝けるまちづくりを進める。多様な価値観を認め、支え合うまちにする。	車がなくても便利な生活ができる環境づくりが必要。行政、学校、地域の世代間交流を促進し、住民同士のつながりを強化。空き家対策、伝統継承、ホコ天拡大、通学定期無償化などの施策を進め、子育て情報の提供を充実させることが求められる。

【グループ発表とりまとめ | 第2回】

キャッチフレーズ	住み続けたいまち	住み続けたいまちにするために
「共に生き、共に創る」	あいさつがあふれ、人と人がつながるまち。安心・安全で住みやすく、スポーツや健康づくりが盛ん。子育てや教育環境が充実し、働きやすさも整う。岡山ならではの個性と誇りを育み、国際交流も進む、共存・共栄・共創のまち。	交通や支援を充実させ、暮らしやすく魅力ある岡山へ。地域産業を活性化し、住民交流を深め、サステナブルシティを実現。教育や就職支援で人を呼び込み、文化や技術を継承・発展。再生可能エネルギー活用で安定した未来を築く。
「未来世代が誇りを持てる町」	地球温暖化対策を進め、カーボンニュートラルを実現し、快適な生活環境を整える。公共交通や医療、娯楽施設を充実させ、経済・産業の活性化で働きやすいまちをつくる。子育て支援を強化し、不登校ゼロを目指すし、誰もが住み続けたいまちへ。	経済の活性化と企業誘致を進め、地域のつながりを強化し、子育てしやすい環境を整える。脱炭素の推進や自然環境の保全に注力し、快適な暮らしを実現。独自の魅力を発信し、他県からの移住促進につなげる。
「想像した岡山を想像する～いつもの日常にトキメキを～」	夢中になれる仕事や学びの場を増やし、結婚・子育ての相談環境を整備。防災力を高め、清潔で治安の良いまちづくりを推進。観光・娯楽施設を充実させ、交通マナー改善や移動手段の拡充で、誰もが快適に暮らせる岡山を目指す。	相談しやすい環境や防災講座の充実で安心なまちへ。交通マナー向上策を強化し、ゴミ箱の増設を進め安全で美しいまち並みを維持。ライブ会場の整備や名物グルメの開発で魅力を高め、岡山に進出していない店舗施設の誘致を進める。
「安全・安心で穏やかなまち 住みやすい岡山」	子育て支援を強化し、待機児童解消や運動施設の拡充を進める。教育・施設環境を整え、快適な生活を実現。交通インフラの改善や就職・起業支援を充実させ、娯楽・福祉の拡充とともに、多様な人が暮らしやすいまちを目指す。	子育て支援を強化し、保育士の増員や預け先の拡充で安心できる環境を整備。就職先を増やし、福祉や交通インフラを充実させ、安全で住みやすいまちへ。移住者や世代間交流の場を作り、挑戦できる活気ある岡山を目指す。

【グループ発表とりまとめ | 第3回】

キャッチフレーズ	住み続けたいまち	住み続けたいまちにするために
「ほっこりアクティブ @岡山市」	住みやすさと活気が共存するまち。ライフワークバランスが充実し、男性育休も推進。自然が豊かで地産地消が進み、水も美しい。若者が多く、学生が地域と関わり活気がある。近所付き合いや国際交流も盛んで、定期的なイベントが交流を深める。	公共施設や市街地が充実し、快適に暮らせるまち。地域の祭りやワークショップを通じて活性化を促進し、多様な発信力で流行を生み出す。子育て・起業応援・農家支援も充実。世代間交流の場を増やし、自然とまちの美しさを守る。
「日々の暮らしは堅実に。 時々ハレの日！」	仕事の選択肢が豊富でワークライフバランスが取れるまち。治安が良く、災害が少なく安心。歩きやすく交通網も充実。バリアフリーが進み、高齢者や障がい者も暮らしやすい。果物や野菜が豊かで、商店街や祭りで賑わい、週末の楽しみも多い。	堅実に暮らせるまちづくりを推進。老後や子育ての安心感があり、保育環境も充実。地域で安全を守り、交通ルールを徹底し移動手段も確保。地産地消を進め、農業や漁業への関心を高める。起業支援や柔軟な働き方も整える。
「日本一のんびりのん気な都会 みんなにやさしい岡山じゃ〜」	穏やかな気候と人柄に包まれ、のんびり過ごせる岡山じゃ〜。都会的な建築や文化施設が充実し、交通網も便利。高齢者や子ども、障がい者、ジェンダーを問わず誰にでも優しく、どこから来ても温かく迎える、心も環境もバリアフリーなまち。	古き良きまち並みを残しつつ、おしゃれな店や魅力的な商業施設が揃う岡山。世代を超えた交流や緑あふれる環境が心地よい。医療・学費支援が充実し、コンパクトシティで移動も便利。起業や魅力的な仕事が増え、文化やエンタメも盛り上がるまち。
「安心・安全で支援が行き届いた、全世代に生きがいがある町」	伝統を生かしつつ、エコフレンドリーで安心安全な岡山。交通や教育が充実し、若者の選択肢が広がる。健康やスポーツ、子育て支援が整い、世代を超えて暮らしやすい。特に子どもや高齢者、関わる人々に優しいまちを目指す。	コミュニティ交流の場を増やし、全世代活躍の場を提供。若者活躍支援、AIを活用した情報発信や子育て支援も重要。働き方改革としてライフワークバランスの充実、大きなライブ会場の設置。安全面では水路や交通機関の整備、防災訓練も。
「市民に投資する街。みんなが恩返ししたくなる街。」	市民が誇りを持てるまち。住まいの支援や医療費無料などサービスが充実し、働く場やサードプレイスも豊富。交通やダイバーシティに配慮し、自然と文化を大切に継承。市が市民に投資し、市民が成長してまちに恩返ししたくなり、共に未来を創る。	暮らしに必要な施設を徒歩圏内に。多世代が共存し、子どもから高齢者まで交流できる場所を提供。身近な交通手段、国際交流の場、スポーツやカフェの楽しめる空間も。地元企業の支援や伝統文化の発信、地産地消での恩返しも重要。

【グループ発表とりまとめ | 第4回】

キャッチフレーズ	住み続けたいまち	住み続けたいまちにするために
「全ての人が安心して暮らせるまち～瑞々しい毎日を～」	安心して暮らせる岡山市を実現。医療福祉が充実し、災害への備えも万全。交通安全を徹底し、自転車も安心して利用できる環境へ。子どもの居場所を大切にし、多世代が交流できるまち。地域活性とつながりで、刺激のある毎日を届ける。	防災意識を高め、次世代が学べる場を提供。用水路や自転車道を整備し、安全な環境を実現。地域の事業所を大切にし、産業や就職の選択肢を広げる。交流の場を増やし、多様な人が活躍できるまちへ。学生やボランティアの参加も推進する。
「人生のあそびば岡山市」	誰もが使える「遊び場」があり、楽しく充実した生活が送れるまち。交通の利便性や安全も整い、誰でも安心して外で遊べる環境。人生が充実、夢中になれることが見つかるまち。仕事や交流も楽しみながら、ワクワクできる場所がたくさんある。	イベントが活発に行われるが、普段は静かに暮らせるまち。働きたい人への支援が充実。各世代の居場所や縦横のつながりを大切にし、廃校の有効活用や環境整備を進める。観光地周辺に買い物場所を増やし、市民の意見を聞く場も設ける。
「すべての世代が交流できて安心して楽しく暮らせる街」	車がなくても生活でき安心して歳を取れるまちを目指す。教育や子育ての悩みを解消する世代間交流の場を提供。文化・エンタメが充実し、誰もが輝けるまちづくりを進める。多様な価値観を認め、支え合うまちにする。	学習環境を整え、進学費用を軽減し、送迎バスでアクセスを向上。起業支援と地元企業の採用枠を増やし、先端分野を誘致。多世代・外国人交流の場や学生主催の祭りを支援。遊び場やスポーツ体験の場を増設し、自由に遊べる場所を提供。